

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32131	スポーツシティまつやま推進事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	2
42211	市民スポーツ活動活性化事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	4
42211	社会体育振興事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	6
42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	8
42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	10
42213	総合コミュニティセンター建物改修事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	12
42213	野外活動センター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	13
42213	野外活動センター施設災害復旧事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	15
42213	スポーツセンター管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	16
42213	中島B&G海洋センター事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ振興課	シートA	18
42213	体育施設管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	19
42213	中央公園管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	21
42213	野球歴史資料館維持管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	23
42213	中央公園改修整備事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	24
42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	26

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当グループ名	プロ・コンベンション担当	連絡先	948-6889			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	大野 精毅	担当者名	主任 橋田 佳奈美	主事	西岡 直哉
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当グループ名	プロ・コンベンション担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	大野 精毅	担当者名	主任 関谷 暁人	主事	西岡 直哉

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	32131	スポーツシティまつやま推進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営		
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						113	重点プロジェクト	松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト		
施策	選ばれる都市づくり							主な取り組み	スポーツシティまつやまの推進		
主な取り組み	スポーツによる地域活性化の推進					市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります			
取り組みの柱	スポーツ支援の促進							スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、併都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。			
総合戦略	3242	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	② 東京オリンピック・パラリンピックなど世界大会の開催を契機とした海外チームの事前合宿誘致に取組みほか、地元プロスポーツチームへの誘客支援を継続して行います。また、坊っちゃんスタジアムをはじめとするスポーツ関連施設の充実を図り、地域住民の来場機会の増加や新たな大会・合宿誘致に取り組めます。				
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)								
		施策	④文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用したビジネス創出								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)			1:有り					
根拠法令、条例、個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	プロスポーツの支援をはじめ、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ひとを応援し、競技人口の拡大や観光施策とも連携させ交流人口の拡大、更には地域経済の活性化など「まち」、「ひと」の元気・活力の創出を図る。										
背景(どのような経緯で開始したか)	本事業は、地域再生の一環として、「坂の上の雲」のまち再生計画の目標に掲げる観光交流人口500万人から600万人への拡大に向け、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化など、「スポーツで「ひと」、「まち」を元気にする」という目的を掲げ、平成17年度から(財)地域総合整備財団の「地域再生マネージャー事業」を活用しスタートした。平成19年度から重点事業に認定され平成20年度から「スポーツシティまつやま推進事業」として実施し、現在に至っている。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	東京ヤクルトスワローズの公式戦及び秋季キャンプの継続誘致、地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援を行う。スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用したスポーツコンベンション誘致活動を行う。大会や合宿誘致に向けたスポーツ情報サイトの運営管理を行う。台北市との友好交流協定を基にしたスポーツ交流を推進する。東京オリンピックを契機とした諸外国のスポーツ合宿誘致を行う。スポーツマスターズ開催時の参加者等へのおもてなしを行う。オリンピック聖火リレーの実施に向けた調整等を行う。全国規模のスポーツ大会や合宿の運営協力及び誘致を行う。										
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		東京ヤクルトスワローズ松山協力会(松山観光コンベンション協会)、愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス						
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		社会体育総務費		R2 予算措置時期	当初	9月補正	12月補正
				項	目	目	目						
				R元年度		R2年度		R3年度					
現計予算額(A) (単位:千円)				104,532		86,949		115,620					
決算額(B) (単位:千円)				82,686		31,075							
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳、R3→予算内訳	国支出金			10,796		7,906		0					
	県支出金			0		0		0					
	市債			0		0		0					
	その他			242		156		23,480					
	一般財源			71,648		23,013		92,140					
主な経費(単位:千円) ※R2→決算、R3→予算						負担金 17,948千円 補助金 948千円 普通旅費 107千円		負担金 73,553千円 補助金 7,000千円 普通旅費 5,526千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等						9月減額補正 31,152千円 12月減額補正 9,181千円							
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		21,846		55,874					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	プロ野球公式戦「東京ヤクルトスワローズ対読売ジャイアンツ」の開催(コロナのため中止) 東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの受入(コロナのため中止) フレッシュオールスターの開催(コロナのため中止) 六大学野球オールスターの開催(コロナのため中止) 松山国際スポーツ交流事業(台北市:野球、マラソン、ドラゴンボートレース、サッカー)(コロナのため中止) 東京オリンピック事前合宿誘致(台湾:マラソン、女子サッカー、パラ柔道、マレーシア:バドミントン、モザンビーク:陸上、空手等)(コロナのため中止) 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など		新型コロナウイルスの影響により、松山国際スポーツ交流事業やオリンピックの事前合宿誘致など多くの事業が延期・中止となったが、ヤクルトスワローズ秋季キャンプの継続協定の締結や一部の合宿受入は実施することができ、翌年度につながる成果はあった。一方で愛媛FCや愛媛MPの集客等の支援は、本市の支援事業に加え、地元企業・関係団体等も積極的に協力している。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		ヤクルト秋季キャンプについて3年間(令和3年度から令和5年度)の継続協定書を締結すると共に、地方球場では初の3度目開催となるプロ野球オールスターゲーム2022を誘致したことで、今後の継続した公式戦の開催も含め、スポーツ活動の活性化による競技力の向上や交流人口の拡大が見込める。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響から、本市で開催予定であった各種スポーツ大会や合宿等が中止や延期となった。また、東京オリンピック・パラリンピックも1年程度延期となり、ホストタウン事業での事前合宿の受入れについては、相手国・地域との交流機会が増加したと前向きに捉え、今後も積極的に取り組んでいきたい。また、コロナ収束後を見据えた誘致活動が必要であり、対策を十分に検討した上で参加選手や関係者の安全を確保した運営が必要となる。										
R3年度の目標	地元プロスポーツの集客数:119,000人 スポーツ交流件数及び合宿受入件数:10件 スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用した大会等誘致件数:38件 東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数:19,500人		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		プロ野球公式戦の開催 東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの受入 フレッシュオールスターゲームの開催 東京六大学野球オールスターゲームの開催 松山国際スポーツ交流事業の実施 愛媛FC、愛媛MP、愛媛OVに関する情報発信 大会・合宿などスポーツコンベンション誘致		特に環境変化、障害、課題等解決のため、R3年度で取り組む改善策		昨年度はコロナ感染拡大防止の為、イベント等多くの事業を中止した。今年度も関係団体と更に連携を図り、コロナ禍での安全な開催方法を検討し進めていく。また、愛媛FC・愛媛MP・愛媛OVに関する情報を効果的に発信するため、報道機関を有効に活用していく。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	ホストタウンに関連したスポーツ交流件数及び合宿受入件数	件	目標値	8	10	10	10	10	目標値	10	
			実績値	9	18	0			達成年度	R4年度	
		%	達成度	113	180	0					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						オリンピック開催前年(令和元年度)を最高値として最終年度まで継続させる。			
	スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用した大会等誘致件数	件	目標値	32	34	36	38	40	目標値	40	
			実績値	42	21	3			達成年度	R4年度	
		%	達成度	131	62	8					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						現在の実績値から可能な最高値を設定			
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	地元プロスポーツの集客数	人	目標値	116,000	117,000	118,000	119,000	120,000	目標値	120,000	
			実績値	105,859	118,480	61,943			達成年度	R4年度	
		%	達成度	91	101	52					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						現在の実績値から可能な最高値を設定			
	東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数	人	目標値	18,000	18,500	19,000	19,500	20,000	目標値	20,000	
			実績値	18,901	19,424	0			達成年度	R4年度	
		%	達成度	105	105	0					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						現在の実績値から可能な最高値を設定			
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	ホストタウンに関連した合宿等受入・大会等誘致については、コロナウイルスの影響により、中止・延期となったため、未達となった。									
	成果指標	コロナ感染拡大防止の為、本年度開催はしなかったが、コロナ後の交流再開をスムーズに行えるように関係団体と情報共有を行い連携を図った。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	事業実施による交流人口と地域経済効果										

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	吉川 英里	主事	藤田 凱己
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	武氣 浩介	主事	吉川 英里

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	市民スポーツ活動活性化事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金		
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト	-				
施策	地域スポーツの活性化					主な取り組み	-				
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進				市長公約						
取り組みの柱	市民スポーツ活動の活性化										
総合戦略	4231	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	① スポーツを通じて、市民の健康維持・増進や地域相互の親睦・交流等を深めるため、市民体育祭や松山市長旗杯大会等の開催を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康の維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。				
		政策	②生活の質と都市力の向上								
		施策	③誰もが楽しめるスポーツ・文化の充実								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等											

事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図ること、また、本市でのスポーツの推進と発展に寄与し、市民生活を明るく豊かにすることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図るため、「松山市民体育祭実行委員会」を設立し、昭和55年から市民体育祭を運営している。また、広く市民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚させることにより、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにするため、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」を設立し、平成25年度から市民のスポーツ振興を積極的に支援している。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:全市民 負担金交付先:松山市民体育祭実行委員会、松山市長旗杯大会開催支援実行委員会 事業内容:「松山市民体育祭実行委員会」に負担金を支出し、市民体育祭を開催している。 松山市長旗杯大会を開催している各種団体に対して、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」が継続して大会が開催できるよう支援している。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等		「無し」の場合、その理由		スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進を図るもので、運営が困難な大会等を支援することから、負担はない。		
始期・終期(年度)	昭和	55		～	令和	4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		社会体育総務費		R2 予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				5,073		5,108		4,663			
決算額(B) (単位:千円)				3,484		203		0			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			3,484		203		4,663			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						市民体育祭実行委員会:178千円		市民体育祭実行委員会:3,019千円 市長旗杯大会開催負担金:600千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		1,589		4,905			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市長旗杯大会15大会への開催支援を行った。										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた事業を実施することができなかったため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		松山市長旗杯大会を開催することで、スポーツを通じた交流機運が高まっているため。						
事業の公共性	必要性	2		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、市内で開催予定であったスポーツ大会の中止や延期、スポーツ施設の利用制限が行われている。										
R3年度の目標	・公民館対抗スポーツ大会の参加者数2600人を目指す。 ・松山市長旗杯大会の開催支援として40大会の支援を目指す。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		・各公民館や各地区のスポーツ推進委員と連携し、市民スポーツ大会を開催 ・市民体育祭の開催 ・松山市長旗杯大会の開催支援		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、関係機関と連携して、公民館対抗スポーツ大会や市民体育祭の開催可否について適正に判断する必要がある。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市長旗杯スポーツ大会の開催数	大会	目標値	40	40	40	40	40	目標値	40	
			実績値	23	21	15			達成年度	R4	
			% 達成度	58	53	38					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。					第6次松山市総合計画の指標で、同様の目標設定を行っている。				
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	公民館対抗スポーツ大会の参加者数	人	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	目標値	2,600	
			実績値	2,496	2,368	0			達成年度	R4	
			% 達成度	96	92	0					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。					公民館対抗のスポーツ大会のうち、バレーボールとソフトボールは50回以上開催してきた歴史があるものの、大会の競技レベルが高く、未経験者が参加しにくい状況があり、参加チームが減少傾向にあるため、現状維持を目標とした。				
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	各種大会の支援を行ってきたが、えひめ国体・えひめ大会を目標にしてきた大会が多く、現在は減少傾向にある。今後は、支援方法を再検討し、新規の大会支援を行う。									
	成果指標	公民館対抗スポーツ大会は、市民体育祭を含め年5回実施しており、これ以上の大会の増加は公民館活動との調整もあることから困難であるため、現在の大会の開催機会を維持し、大会の質を高めることで、多くの市民参加を促進している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての大会を開催できなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	吉川 英里	主事	藤田 凱己
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	武氣 浩介	主事	吉川 英里

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	社会体育振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります	
取り組みの柱	市民スポーツ活動の活性化				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、伊都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。	
総合戦略	4231	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	① スポーツを通じて、市民の健康維持・増進や地域相互の親睦・交流等を深めるため、市民体育祭や松山市市長旗杯大会等の開催を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康の維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。	
		政策	②生活の質と都市力の向上			
		施策	③誰もが楽しめるスポーツ・文化の充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツの振興・普及を図るために各種大会に対し、様々な支援を行いスポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの笑顔が増えるよう、平成24年度より、スポーツで優秀な成績を取った選手や指導者を対象に「まつやまスポーツ笑顔大賞」を創設した。 ・平成17年に旧中島町との合併に伴い、旧中島町が開催していた「トライアスロン中島大会」の開催・運営を引き継いだことにより、大会運営に参画している。 ・既存の大会としてあった「愛媛マラソン」を、平成22年の第48回大会より、アスリートマラソンの大会から、市民マラソンの大会として開催するにあたり、主催者として大会運営に参画している。 						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<p>【対象】 広告料:野球クラブチーム(松山フェニックス・マドンナ松山) 負担金交付先:愛媛マラソン実行委員会、トライアスロン中島大会実行委員会 補助金交付先:全国大会に出場する小中学生</p> <p>【事業内容】 ・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。</p>						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由	愛媛マラソンやトライアスロン中島大会への参加費		
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R2 予算措置時期		当初	12月補正
									R元年度	R2年度		
現計予算額(A) (単位:千円)						28,960		22,508				31,987
決算額(B) (単位:千円)						25,478		15,246				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金			0		0				0
			県支出金			0		0				0
			市債			0		0				0
			その他			0		0				0
			一般財源			25,478		15,246				31,987
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							全国大会参加激励金:1,070千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円 第93回選抜高校大会出場補助金:2,000千円					全国大会参加激励金:7,000千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円 全国高校総体実行委員会負担金:3,780千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							12月減額補正(△2,835千円) 予備費充用(2,000千円) 流用あり(67千円)					
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			3,482		7,262				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が取り組む各種大会の後援を行った。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行った。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行った。 					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定通り大会運営ができなかったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	各種の取り組みにより市民のスポーツへの振興・普及が図れているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で本市が後援しているスポーツ大会が中止や延期となっている。					
R3年度の目標	愛媛マラソン抽選エントリー申込者数22,500人を目指す。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛マラソン実行委員会と連携し、広く大会の周知を行う。 ・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。 	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	各大会については、新型コロナウイルス感染症状況を注視し開催可否について関係機関と連携し適正に判断する必要がある。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	愛媛マラソン抽選エントリー申込者数	人	目標値	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	目標値	22,500	
			実績値	23,650	24,396	0			達成年度	R4	
		%	達成度	105	108	0					
		指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		当初の目標設定は、定員増を加味して目標値を設定していたが、現状では、実行委員会で定員増は、考えられていないため、現状維持として過去の目標値で最も高い値を最終目標としている。			
		本指標の設定理由	愛媛マラソンの人気を把握できる数値のため								
	愛媛マラソンの経済効果	千円	目標値	493,100	493,100	493,100	493,100	493,100	目標値	493,100	
			実績値	592,000	583,000	0			達成年度	R4	
		%	達成度	120	114	0					
		指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		当初の目標設定は、定員増を加味して目標値を設定していたが、現状では、実行委員会で定員増は、考えられていないため、現状維持として過去の目標値で最も高い値を最終目標としている。			
		本指標の設定理由	愛媛マラソンが地域経済の活性化にどのくらい寄与しているのかの指標になるため。								
	トライアスロン中島大会申込者数	人	目標値	625	625	625	625	625	目標値	625	
			実績値	434	438	0			達成年度	R4	
%		達成度	69	70	0						
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		本大会は30回を超える歴史ある大会であり、愛媛県唯一のトライアスロンの大会であった。しかし、平成24年度以降は愛南町、伊予市、今治市で、日本トライアスロン連合公認の大会が開催されるようになり、選手にとっての選択肢が大幅に広がった。そのため、H25年度の実績値を現状維持とする目標設定にしている。				
	本指標の設定理由	トライアスロン中島大会の人気を把握出来る数値であるため。									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	昨年度は、愛媛マラソン、トライアスロン中島大会ともに、新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹 本田 誠	担当者名	主事 古茂田 修一
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹 中矢 章一	担当者名	主事 古茂田 修一

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	スポーツ少年団への支援			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に各種事業に取り組んでいる「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に運営補助を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に「公益財団法人 松山市体育協会」が昭和57年に設立された。スポーツの振興・普及・育成等の事業を行っており、運営費を補助している。(平成30年6月から「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に名称変更)					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	補助金交付先:公益財団法人 松山市スポーツ協会 市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に次の各種事業を実施している、「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に補助金を支出する。 1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 60 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		社会体育総務費		R2 予算措置時期	当初
				目	項	目	項	目	項		
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				55,543		54,922		50,056			
決算額(B) (単位:千円)				45,711		33,410		-			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			45,710		33,410		50,056			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				-		松山市スポーツ協会運営補助金54,922千円		松山市スポーツ協会運営補助金50,056千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		-		-			
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		9,832		21,512			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」の運営補助を行った。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により,多くの事業が実施できなかった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	多くの市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することができた。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で,予定どおり事業の実施が出来ていない。スポーツ少年団の活動も練習試合ができない等の制限を受けた。					
R3年度の目標	松山市スポーツ協会に運営補助を行い,同協会が各種事業を行うことで,スポーツ少年団登録者数3500人を目指す。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に運営補助を行い,次の事業を実施する。 1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染状況を注視し,国や愛媛県からの情報を共有し,スポーツ少年団の活動やスポーツ大会等の開催について,慎重な対応を行う必要がある。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	①スポーツ少年団登録者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	目標値	3,500	
			実績値	2,964	2,861	2,639			達成年度	R4	
		%	達成度	85	81	75					
		指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		少子化が進行中、現状維持を目標値とする。			
		本指標の設定理由	スポーツ少年団登録者数の増加対策への指標となるため。								
	公認スポーツ指導員とスポーツ少年団指導者数	人	目標値	850	950	1,050	1,050	1,250	目標値	1,250	
			実績値	801	859	861			達成年度	R4	
		%	達成度	94	90	82					
		指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画の指標で、同様の目標設定を行っている。			
		本指標の設定理由	スポーツ活動の支援体制の充実度を示す指標であるため。								
	③まつやまキッズスポーツクラブ「つばさ」の延べ参加者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	目標値	1,100	
			実績値	538	743	0			達成年度	R4	
%		達成度	49	67	0						
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		少子化が進行中、現状維持を目標値とする。				
	本指標の設定理由	スポーツを日常的に行う子供の数を知る指標であり、「つばさ」の効果を測る指標となるため。									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	①少子化及び感染症の影響により登録者数が減少している状況である。 ②感染症の影響により、指導者資格取得に係る講習会等が実施できず、取得者が減少した。 ③昨年度は、感染症の影響により事業の実施ができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	公益財団法人松山市スポーツ協会が事業を行うため活動指標については設定しない。										

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	青木 琢也	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	青木 琢也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市総合コミュニティセンター条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市総合コミュニティセンターは市のスポーツ・レクリエーション・文化振興・生涯学習の活動中核拠点である。同センターの管理・運営を指定管理により行い、教育文化の振興や市民の健康増進、市民福祉の高揚に寄与する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	令和元年度から令和5年3月31日までの5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	松山市総合コミュニティセンター条例			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理課	目	総合コミュニティセンター費	R2 予算措置時期	
									当初	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				670,311			644,270	631,954		
決算額(B) (単位:千円)				646,333			605,699			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0			1,051	3,123		
	県支出金			0			0	0		
	市債			800			0	0		
	その他			232,600			111,147	164,100		
一般財源			412,933			493,501	464,731			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料(指定管理料):585,338千円		委託料(指定管理料):619,153千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		23,978		38,571		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として管理・運営を委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行われた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下					
R3年度の目標	新型コロナウイルス感染症影響により、施設利用を制限したことにより利用者数が減少した。今後は感染症対策を十分に行いながら、来館者の回復のために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入199,221千円を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、入館者数確保のために円滑な維持管理に努める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	319	319	317	319	320	目標値	320	
			実績値	321	324	293			達成年度	R4年度	
			% 達成度	101	102	92					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本の営業日数は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	240,000	198,653	198,940	199,221	199,505	目標値	199,792	
			実績値	225,091	226,624	106,676			達成年度	R5年度	
			% 達成度	94	114	54					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設を休館したことにより目標を達成することができなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の利用制限に伴い利用者が大幅に減少したことにより達成できなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングシテ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	青木 琢也	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングシテ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	青木 琢也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	総合コミュニティセンター建物改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	松山市総合コミュニティセンター条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	建設後約30年を迎え、老朽化が進んでいる施設を、適宜改修や更新により、市民が安全で安心して活用できる施設として維持・管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	利用者が安心して施設を利用できるように、老朽化が進む施設の計画的な改修を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		目	総合コミュニティセンター費	R2 予算措置時期	
				項	総務管理課			当初	繰越
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				0			105,700		143,110
決算額(B)(単位:千円)				0			34,650		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0			0		0
		県支出金		0			0		0
		市債		0			31,100		63,900
		その他		0			0		0
		一般財源		0			3,550		79,210
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費:34,650千円			工事請負費:72,060千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									予算のうち71,050千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	0		71,050		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市総合コミュニティセンターこども館・企画展示ホール外壁・防水改修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者とも協議しながら、利用者に配慮した工事の進捗管理が行えている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、利用者の安全かつ安心して利用できる環境づくりに繋がっている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	施設の機能を維持するために、改修・修繕を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	引き続きこども館及び企画展示ホール外壁等工事を行うほか、体育館のボイラ更新工事や施設内のシャッター改修工事を行う。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策 大規模な施設改修を実施していくために、改修計画を整理・検討する。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主任	伊藤 慎弥	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約				
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市野外活動センター条例,松山市野外活動センター条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	野外活動及びスポーツ施設の拠点として,スポーツ・レクリエーションや豊かな自然に触れ合うことのできる場を提供し,市民の健康維持・増進に寄与する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成元年7月のキャンプゾーン一部オープンを皮切りに順次整備を進め,平成10年4月に全面オープンしたレクリエーション施設である。レインボーハイランドとして親しまれ,管理運営を(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が行っている。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象>スクールゾーン,キャンプゾーン,アドベンチャーゾーンの3つのゾーンで構成されており,子供から大人まで楽しめる野外活動センター施設となっている。 <事業内容> ・平成31年度から5年間の予定で,(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市野外活動センター条例,松山市野外活動センター条例施行規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	野外活動センター費	R2	R3
									予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				218,358		211,542		209,989		
決算額(B)(単位:千円)				196,806		187,823				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		128		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			30,202		16,480		26,900		
一般財源			166,604		171,215		183,089			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料(指定管理料):180,345千円 工事請負費:7,456千円		委託料(指定管理料):203,127千円 工事請負費:4,834千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						工事請負費から負担金へ流用(増減なし):22千円				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		21,552		23,719		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・キャンプオフィス1か3棟屋根塗装改修工事 ・水車小屋撤去工事,水車小屋前法面崩落復旧工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響であったが,利便性向上につながる取組や魅力ある自主事業を行うなど,適切な維持管理を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		自然を身近に感じるとともに市民の健康維持・増進に寄与する施設として必要不可欠であると考えられるため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により,離れてしまった利用者呼び戻すための魅力ある施設運営に努める必要がある。					
R3年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため,施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。今後は,通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め,使用料収入33,200千円を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・(公財)松山市文化・スポーツ財団への指定管理による施設維持管理 ・鉄骨支柱再塗装工事		施設の本格的な再開に取り組み,野外活動センターの魅力効果を効果的に発信していく。 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取組む改善策

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	営業日数	日	目標値	327	321	320	319	321	目標値	321	
			実績値	171	335	296			達成年度	R4年度	
			% 達成度	52	104	93					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日数は変動するため、毎年度目標値を定める。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	40,000	26,000	31,360	33,200	35,080	目標値	37,000	
			実績値	14,613	27,581	15,442			達成年度	R5年度	
			% 達成度	37	106	49					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。				
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策のため臨時閉館した期間があり未達成であった。									
	成果指標	一部施設を閉鎖した状態での営業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、使用料収入の目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主任	伊藤 慎弥	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター施設災害復旧事業	事業性質	2:その他	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市野外活動センター条例,松山市野外活動センター条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	平成30年7月の西日本豪雨により複数箇所発生した崩落箇所を復旧し、市民が安全・安心に利用できるスポーツ施設を提供することを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	西日本豪雨の影響で被害を受けた箇所は以下のとおり。 ①施設入口付近の園内道路法面の崩落(2か所) ②園内通路が寸断(バーベキュー広場東斜面、ローラースライダー南斜面) ③法面崩落(多目的グラウンド北側、西側、貯水槽周辺、クラブ教室東) ④崩落により敷地外への土砂流出(4か所)						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象>スポーツ及び野外活動を楽しむ市民を広く対象にしている。 <事業内容> ・株式会社坂本重機建設へ本復旧その他工事の工事請負費を支出。 ・山電工業株式会社へ進入路外灯災害復旧工事の工事請負費を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	2	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	災害復旧費		教育施設災害復旧費		野外活動センター施設災害復旧費		R2予算措置時期	繰越
				R元年度	項	目	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						120,048		32,500			0
決算額(B)(単位:千円)						85,217		26,184			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金		0		0			0
				県支出金		0		0		0	
				市債		85,100		26,100		0	
				その他		0		0		0	
			一般財源		117		84			0	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							工事請負費 26,184千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							決算額のうち26,184千円は前年度繰越分				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			34,831		6,316			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・本復旧その他工事 ・進入路外灯災害復旧工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	復旧工事を完了することができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	野外活動センターでも利用頻度の高い場所の復旧工事であり、利用者が安全・安心して利用できる施設の維持管理は地域スポーツ活動の推進にとって必要不可欠であると考えられるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	復旧工事を完了することができた。					
R3年度の目標			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主任	伊藤 慎弥	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	スポーツセンター管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約				
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市北部地域のスポーツ拠点として、市民にスポーツ活動・レクリエーション活動を行える場所を提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年1月に旧北条市との合併により、旧北条スポーツセンター及び北条体育館が松山市の管理施設となった。現在の北条スポーツセンターは、平成19年7月に球技場を供用開始したのを皮切りに順次供用開始し、平成23年4月に体育館を供用開始して第1期整備は完了した。次いで、第2期整備として平成28年4月に野球場を供用開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象>北条スポーツセンター及び北条体育館 <事業内容> ・平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		体育施設費		R2 予算措置時期	
				目	項	目	項	目	項	当初	繰上
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				136,574		141,931		109,685			
決算額(B) (単位:千円)				125,164		134,769					
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					126		0			
	県支出金					0		0			
	市債					0		0			
	その他			19,295		13,665		16,500			
一般財源			105,869		120,978		93,185				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料(指定管理料):97,233千円 工事請負:28,877千円 備品購入費:8,634千円		委託料(指定管理料):101,861千円 工事請負:6,800千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						工事請負費から負担金へ流用(増減なし):24千円					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		11,410		7,162			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・陸上競技場南法面補強工事 ・体育館天井照明器具交換工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、年間を通じて円滑な運営管理が行えた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設運営が行われ、市民の円滑な利用に繋がっているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下					
R3年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。今後は、通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入17,580千円を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・野球場南コンクリート水路破損補修工事		新型コロナウイルス感染症に対応しながら、利用者数確保のために円滑な維持管理に努める。 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	359	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	359	360	333			達成年度	R4年度	
			% 達成度	100	100	93					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	大型工事等の影響で基本の開館日数は変動するため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	19,500	19,500	17,500	17,580	17,730	目標値	17,910	
			実績値	16,241	17,001	11,627			達成年度	R5年度	
			% 達成度	83	87	66					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策のため臨時閉館した期間があり未達成であった。									
	成果指標	屋外施設が天候の影響を受けやすいことや、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、使用料収入の目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグレーション課	担当グループ名	施設担当	連絡先	997-2211			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主幹	中藤 敏也	主任	新藤 成人
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグレーション課	担当グループ名	施設担当	連絡先	997-2211			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	大堀 英世	主任	新藤 成人

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中島B&G海洋センター事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	中島B&G海洋センターは、体育館(アリーナ・トレーニングルーム・ミーティングルーム)と、プールを持つスポーツレクリエーションの総合施設であり、市民の健康増進につながる様々なイベントやスポーツ教室を年間を通して開設している。また、海洋スポーツ等を通じた青少年の健全育成を促進するため、海洋クラブ活動を年間25回程度実施している。さらに、夏季には海に親しむ機会を作ってもらうため、海洋性レクリエーション指導員の派遣を行っている。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年開設(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団により建設され、昭和62年に旧中島町に無償譲渡された。平成17年に松山市と合併し、松山市中島B&G海洋センターとして運営中。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	(対象) ・施設の貸出や、健康増進につながるイベント・教室の開催は、主に中島に住む住民が対象である。海洋クラブ活動は、主に中島の小中学生(島外からも12名参加)が対象である。海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントは、主に松山市主催事業の参加者(島外小中学生)が対象である。 (事業内容) ・体育館・プール(夏季限定)施設の維持管理と市民への貸出業務 ・年間を通じて様々なスポーツイベントを開催 ・海洋クラブの充実(海洋性スポーツ等を通じた青少年の健全育成) ・B&G財団との連携による各種事業の開催 ・中島で開催される各種事業との連携(体験型の海洋性スポーツを実施)						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市体育施設条例に使用料の定めあり			
始期・終期(年度)	昭和	59	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		体育施設費		R2予算措置時期		当初
				目	項	目	項	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				R元年度		R2年度		R3年度				
決算額(B)(単位:千円)				38,958		8,442		10,069				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0				0
	県支出金			0		0		0				0
	市債			10,000		0		0				0
	その他			12,885		220		260				
	一般財源			14,038		6,469		9,809				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				委託料:2,294千円 工事請負費:1,463千円		委託料:3,550千円 需用費:2,896千円 工事請負費:1,000千円						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増あり								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		2,035		1,753				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントの実施 ・島以外からも海洋クラブへの参加者を募る ・B&G財団主催イベントへの積極的な参加 ・他課及び他団体との連携による海洋性スポーツの普及活動					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・センター評価が12年連続特Aを維持し、それに伴いB&G財団からの舟艇再配備事業や修繕助成等のB&G財団からの高い助成率を得られた。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設の閉鎖や事業の中止延期、海洋性スポーツレクリエーション指導員派遣要請数も減少し、施設利用者が昨年度を下回った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	通常であれば、スポーツ、健康維持の施設として年間約10,000人以上に利用されており、ひいては離島振興に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・当センターは昭和59年ころ建設され、外壁修繕工事をR1年度に行ったものの基本的には機器類も含め全体的に経年劣化が進んでいる。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、施設の閉鎖や海洋センター主催事業等の中止延期等も考えられる為、施設利用者の減少や施設利用者に対しての感染予防対策の徹底が懸念される。 ・離島であり高齢化、人口減少も進んでおり、利用者の確保が課題である。					
R3年度の目標	・スポーツを通じた市民の憩いの場であると同時に、健康増進の拠点としての役割を果たしていく。 ・施設利用者に対しては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底や安全管理マニュアルを作成し、安心・安全に施設を利用してもらえるように努める。 ・社会教育等との連携や新規事業の実施等により、センター利用者の増加を図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・プールを含む体育施設の貸館業務 ・海洋性レクリエーション(体験イベント)の実施 ・新たなスポーツ教室の開催		・四半期毎の施設点検に加え日常的な施設点検の実施 ・各種、保守点検業務を速やかに実施し機械類の突発的故障等トラブルに対応する ・愛媛県B&G連絡協議会主催のスポーツ大会等への積極的参加 ・夏季にイベントを行う他課との連携による、海洋性レクリエーション体験の実施 ・小中学校と連携した行事の開催に努める。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事 田中 光弘
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査 毛利 清一

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施設コード)	42213	体育施設管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	体育施設を円滑に維持管理し、充実したスポーツ施設を市民に提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	利用者が目的に応じ安心して気軽にスポーツを楽しむほか、市民のレクリエーション活動や憩いの場として活用するために順次開設し、維持管理を行っている。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象>・別府市民運動広場:昭和58年・拓川市民運動広場:昭和60年・空港東第四公園テニスコート:平成元年・湯月公園テニスコート:昭和28年・重信川ソフトボール広場:昭和54年・河野別府公園体育施設・市民グラウンド:平成元年、サブグラウンド:平成6年、テニスコート:平成2年・北条公園(北橋運動広場):昭和52年 <事業内容>施設の運営・維持管理や改修工事等を行っている。 ・施設の運営・維持管理のための指定管理等に関する事務・各種工事・各種備品等の充実・修繕 ・別府市民運動広場、拓川市民運動広場、空港東第四公園テニスコート、湯月公園テニスコート、重信川ソフトボール広場:奥アンツーカ株式会社へ委託 ・河野別府公園体育施設(市民グラウンド、サブグラウンド、テニスコート):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託・北条公園(北橋運動広場):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	昭和	28	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		R2 予算措置時期	当初
				目	目	R元年度	R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						92,286	74,872		40,653
決算額(B)(単位:千円)						55,929	71,574		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金		0	0		0
				県支出金		0	0		0
				市債		13,100	19,900		0
				その他		16,089	15,705		16,300
			一般財源		26,740	35,969		24,353	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							委託料(指定管理料)37,671千円 工事請負費:25,122千円	委託料(指定管理料):37,671千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							委託料決算額のうち6,820千円は前年度繰越分 工事請負費決算額のうち19,912千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			36,357	3,298			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・指定管理等による施設維持管理 ・スポーツ施設ストック適正化計画の策定業務委託 ・重信川ソフトボール広場第3、4コート整備工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者と連携し、適切な維持管理を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業で維持管理しているスポーツ施設の利用者は、年間延べ20万人を超えており、地域スポーツ活動の推進にとって必要不可欠であると考えられるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下					
R3年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数が減少している。利用者が安心して利用できる施設管理を努め、利用者数の増加を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・指定管理者等による施設維持管理 ・施設の修繕工事 ・スポーツ施設ストック適正化計画策定業務委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	
	利用者数確保のため、様々な感染症対策を講じ、安心・安全な施設管理に努める。					

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開場日数	日	目標値	359	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	359	359	333			達成年度	令和4年度	
			% 達成度	100	100	93					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	工事等の影響で基本の会場日数は変動する可能性があるため、毎年度目標値を定める。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	16,230	16,651	16,587	17,524	17,627	目標値	17,732	
			実績値	16,168	15,646	15,292			達成年度	R5年度	
			% 達成度	100	94	92					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。				
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため。(重信川ソフトボール広場除く)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策による施設休業により目標は達成できなかったが、休業以外は予定通りの会場を行うことができ、良好である。									
	成果指標	新型コロナウイルスによる影響と屋外施設であることから天候の影響を受けやすく、使用料収入が目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 林 直輝
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 林 直輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施設コード)	42213	中央公園管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	スポーツ基本法・松山中央公園体育施設条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ施設の拠点・スポーツ公園として、スポーツ・レクリエーションの場を提供して、市民の健康維持・増進に寄与する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成15年9月に地方自治法の一部改正により、公の施設管理について、指定管理者制度が導入され、それに伴い平成18年度から同施設も導入した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	令和元年度から5年間について、指定管理者として松山中央公園の管理・運営を行ってもらうため、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団に指定管理料を支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	松山中央公園体育施設条例第5条に基づき使用料を定めている。			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		中央公園管理費		R2 予算措置時期		当初
				項	目	目	目	R2年度	R3年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				R元年度		R2年度		R2年度		R3年度		
						623,775		615,531		625,212		
決算額(B) (単位:千円)						614,500		571,094				
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0		372		0		0	
				県支出金	0		0		0		0	
				市債	0		0		0		0	
				その他	150,069		103,676		125,600			
				一般財源	464,431		467,046		499,612			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料(指定管理料): 544,416千円		委託料(指定管理料): 581,799千円 工事請負費:30,232千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額 (単位:千円)			(A)-(B)	9,275		44,437						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として松山中央公園の管理・運営を委託										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行われた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。								
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症による、施設利用者数や使用料収入の低下										
R3年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用を制限したことで利用者数が減少した。今後は感染症対策を十分に行いながら、利用者数の回復のために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入129,500千円を目指す。		R3年度の主な取組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症に対応しながら、利用人数確保のために円滑な維持管理に努める。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	315	320	317	318	318	目標値	318	
			実績値	322	323	293			達成年度	R4年度	
			% 達成度	102	101	92					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料	千円	目標値	160,100	125,200	128,100	129,500	131,400	目標値	133,400	
			実績値	142,796	140,421	97,265			達成年度	R5年度	
			% 達成度	89	112	76					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設を休館したことにより目標を達成することができなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の利用制限に伴い利用者が大幅に減少したことにより達成できなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事	林 直輝	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事	林 直輝	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野球歴史資料館維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

事業の目的(どのような状態にするか)	坊っちゃんスタジアムの施設内に、正岡子規が伝えたと言われる野球の歴史資料館を開館しており、アマチュア野球を中心に貴重な資料等の展示を行っている。野球歴史資料館維持管理事業は、市民はもとより、松山を訪れる野球ファンに來館していただき、愛媛の野球史に興味を持っていただけるよう、展示物を整備することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	現在も利用されているゲーム(バーチャルピッチング)のコーナーは、平成12年の坊っちゃんスタジアムオープン時から設けられていた。そして、平成14年のオールスターゲームが開催されたことを契機に、プロ野球に関する展示が新たに加わったものの、輝かしい成績を取ってきた高校野球や社会人野球といったアマチュア野球に関する資料等を広く市民に閲覧していただく機会や場所はない状況であった。そこで、歴史が深いアマチュア野球を含めた形で、愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという機運が高まったことにより、本事業が開始された。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公益財団法人松山市スポーツ協会に野球歴史資料館の維持管理を委託するため、委託料を支出している。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由		
初期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別
			2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		中央公園管理費		R2予算措置時期		当初
				目	項	目	項	目	項	R2年度	R3年度	
				R元年度		R2年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				7,487				7,387				7,267
決算額(B)(単位:千円)				6,786				6,433				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0				0				0
	県支出金			0				0				0
	市債			0				0				0
	その他			103				34				100
	一般財源			6,683				6,399				7,167
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料:6,433千円				委託料:7,267千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		701		954				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公益財団法人松山市スポーツ協会へ野球歴史資料館の維持管理を委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて滞りなく運営を行うことができたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		令和2年度の野球歴史資料館の入館者数は、アマチュア野球コーナーとプロ野球コーナーを合わせて、年間延べ約3,500人と、新型コロナウイルスの影響で例年の入館者数と比較すると大きく減少しているが、愛媛の野球を顕彰し後世に引き継いでいくにあたっては、必要不可欠な施設であると考えられる。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症による、入館者数の低下					
R3年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少した。今後は感染症対策を十分に行いながら、利用者数の回復のために適正な施設の管理運営に努め、入館者数9,300人を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・公益財団法人松山市スポーツ協会へ野球歴史資料館の維持管理を委託 ・新たな資料等を提供いただける場合の積極的な受入れ	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、入館者数確保のために円滑な維持管理に努める。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事	林 直輝	
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事	林 直輝	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施設コード)	42213	中央公園改修整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	スポーツ基本法・松山中央公園体育施設条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	多くの市民等にスポーツ・レクリエーションの場を提供している中央公園体育施設の、安全で快適な施設提供を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	各施設とも経年劣化による摩耗・劣化が見受けられ、体育施設等の機能を維持するために改修・修繕を行う。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	施設の状況を確認しながら、随時改修工事を行っている。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 18	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	R2 予算措置時期			
									当初	6月補正	3月補正	
				R元年度		R2年度		R3年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				202,358		944,404		714,761				
決算額(B) (単位:千円)				197,905		372,680						
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		229,547				
	県支出金			0		0		0				
	市債			0		326,300		245,700				
	その他			0		0		0				
一般財源				197,905		46,380		239,514				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費:362,560千円 委託料:10,120千円		工事請負費:714,761千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						現計予算額の内訳 当初 407,710千円 6月補正 18,763千円 3月補正 517,931千円		予算のうち517,931千円は前年度繰越分				
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		4,453		571,724				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・坊っちゃんスタジアムナイター照明改修工事 ・坊っちゃんスタジアムスコアボード設備更新工事設計業務委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	優先順位の高いものから改修を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	限られた予算内で改修することから、突発的な工事については、優先順位を付けて実施すること並びに大規模な改修工事では、利用者に影響が出ない時期等を見据えて取り組む必要がある。					
R3年度の目標	体育施設等の機能を維持するために、改修を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・坊っちゃんスタジアムスコアボード改修工事 ・坊っちゃんスタジアム自動火災報知設備改修工事 ・坊っちゃんスタジアム内野グラウンド改修工事 ・坊っちゃんスタジアムガスエアコン改修工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策 大規模な施設改修を実施していくために、改修計画を整理・検討する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標									
	成果指標									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	計画的な施設の改修のほか、随時必要な箇所に対して修繕・改修を実施していく事業であることから、指標が設定できない。									

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	吉川 英里	主事	藤田 凱己
令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6822			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	武氣 浩介		

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	42221	スポーツ推進委員協議会運営事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化					主な取り組み	-			
主な取り組み	指導・支援体制の充実				市長公約					
取り組みの柱	指導者の育成・強化とボランティアの活動支援									
総合戦略	基本目標	-								
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	スポーツ基本法									
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員を委嘱し、市民体育祭や各種スポーツ大会の運営や、地域住民に対し、スポーツに関する指導・助言を行うことで、地域のスポーツ振興に努める。									
背景(どのような経緯で開始したか)	1961年に「スポーツ振興法」が制定され同法19条に体育指導員に関する規定が設けられた。2011年に「スポーツ基本法」として改正され同法32条にスポーツ推進委員に関する規定が設けられた。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	対象:各地区の公民館長から推薦された方(定員150名)を、スポーツ推進委員として本市が委嘱している。その活動経費として、松山市スポーツ推進委員協議会に負担金を支出している。協議会では、各種市民スポーツ大会を運営するほか、障がい者スポーツやグラウンド・ゴルフ、ペタンク等の研修会を実施している。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等		「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	36	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R2 予算措置時期	当初
									R2年度	R3年度
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A) (単位:千円)						6,708	6,805		6,805	
決算額(B) (単位:千円)						6,586	5,978			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			6,586		5,978		6,805		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						報酬:5,496千円 負担金:235千円 消耗品費:137千円	報酬:5,685千円 負担金:789千円 消耗品費:137千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用あり(△67千円)				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		122		827		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	各公民館との連携を図り遅滞ない委嘱を行い、スポーツ推進委員に各地区でスポーツの指導、助言等を行っていただいた。市が主催する市民スポーツ大会や市民体育祭は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった。										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおりの大会運営ができなかったため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市民のスポーツに対する意識の高揚や健康増進につながる						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で松山市スポーツ推進委員協議会総会を书面開催として実施することとなった。										
R3年度の目標	引き続き、スポーツ推進委員が円滑に活動できる補助を行う。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			各種市民スポーツ大会の運営やスポーツ推進委員研修会の実施		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、総会や研修会については、延期や书面決議での対応を行い、協議会の運営に支障をきたさないよう対応する必要がある。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
	上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標								
		成果指標								
上記の指標以外に、指標では表すことができな い定性的な成果がある場合、その内容	スポーツ推進委員協議会の補助をするものであるため活動・成果指標の設定は行わない。									